

[資料1]

臨時休校延長に関する園部中学校の対応について

園部中学校 校長 國府常芳

今回の休校延長に関わっての本校の取組を紹介させていただきます。

まず、今回の休校延長は、生徒に大きな不安を抱かせていると考えています。生徒は、友達に会えないし、好きな部活動もできない毎日。加えて、目標にしてきた全日中の大会(全国中学校総合体育大会)や近畿の大会が中止となり、身近なところでは、各ブロックの大会も中止になるなど、心の衝撃はいかばかりかと心配しています。一方で、自分が、あるいは身近な人が新型コロナウイルスに感染しないか怖い気持ちだとも思います。

そこで本校の取組としては、まず、少しでも早く学校としての気持ちを生徒に学校メッセージで送ろうと、「校長メッセージ」をホームページにアップすることとしました。YouTubeにアップすると、誰でも見ることができ、文言や内容によっては、色々批判めいた反応もあるとは思いましたが、それよりも思いを届けることを第1優先として、原稿無しの一発勝負で校長メッセージを録画しアップしました。そして、本校生徒指導主任からも大型連休中を含めた休校中、注意しなければいけない事についてメッセージをアップしてくれました。丁寧で分かりやすい良い内容のメッセージを作成してくれたと考えています。

校長と生徒指導主任がまずはメッセージづくりをし、Zoomによる職員会議(二交代制による支度勤務)で職員が視聴し、次は、各教員からのメッセージづくりであるという長期のめどを示しました。また、この間の大型連休で、情報教育部が調査し、誰でも見られるYouTubeではなく、保護者や生徒にしか視聴できない方法を見つけて、できるようになりました。(ホームページの窓にアクセスをし、クリックしてIDとパスワードを入れると見ることができるようになります。5月7日8日の家庭訪問で保護者に文書で知らせます。)少しハードルを下げることができました。

各教員による家庭学習課題のメッセージづくりは、11日、12日の2日間で行い、でき次第アップする予定です。ねらいは、先生の顔を写すことで、少しでも生徒との交流ができないかということにあります。また、1年生は入学後2回しか会っていないので、先生を知る機会にしたいと考えています。顔を見せて心を伝える取組にしたいと考えています。

次に、7日8日で家庭訪問を実施します。これは、下記にある「園部中学校家庭訪問方法」で行います。緊急事態宣言の中、人との接触を避ける時期、生徒にとっても教員にとっても感染のリスクを避ける意味では、手間がかかりますが、この方法しか無いと思います。何よりも感染させないという安心感の中で家庭訪問をして欲しいと考えてのことです。また、保護者には事前にホームページで「家庭訪問の仕方・配布物」で知らせています。そして、次の2回目の家庭訪問は、5月21日(木)と22日(金)に行く予定です。ねらいは、生徒の顔を見て本校教員が会話することと、このあたりになると、学校再開の方向性か休校再延長かの

判断ができると考えています。

以上の2つの方向性で学校運営をします。

【家庭訪問の方法について 保護者への説明 HP より】

『(学習課題・お知らせ文書等の受け渡しの仕方)』

- ① ご家庭に到着したら、到着したことをご家庭備え付けのインターホンまたは電話でお伝えします。
- ② その連絡を受けたら、生徒の皆さんは提出物(取り組んだ課題や家庭学習記録表等)を玄関先か玄関扉の前に置いてください。
- ③ 置かれたことを遠目で教員が確認した後、課題を回収します。回収後、課題が置かれていた場所に、学校からの配布物(「新たな学習課題」や「学校から保護者様宛のお知らせ文書」等)を置き、置いたことをインターホンまたは電話で伝えた後、その場から2m以上離れます。
- ④ 教員は、生徒の皆さんが配布物を受け取ったことを確認した後、声をかけさせてもらいます。お家での過ごし方や不安に思っていることなど、聞かせてください。

【学校からの配布物一覧】

『生徒の皆さんへ』

- 家庭学習課題(5/20までの分)
- 家庭学習記録表(5/20までの分)
- 卒業生から寄贈いただいたマスク1枚

『保護者の皆様へ』

- 臨時休校延長のお知らせ
- PTA 活動関連各種会議の延期及び PTA 総会の中止について
- 「なんたん学校ホットライン」の開設について
- メール配信システム登録のお願い(学年別)
- 教材費の徴収について
- ◎本校ホームページの「家庭学習課題の取組方法に関するビデオメッセージの視聴方法」について

以上です。』